

国際教養大学と地域の連携による特産品開発

< 秋田県 >

市町村・集落の名称	五城目町 杉沢地域 「清流の会」 杉沢地域は恋地、坊井地、杉沢、合地の4集落
協働の相手（企業や大学等）の名称	国際教養大学（秋田県）
仲介者・コーディネーターの名称	教授 熊谷嘉隆
協働のポイント	「協働のまちづくり支援制度」による活動資金の支援のみならず、必要性のある作業・活動に対しては職員も率先して参画し協働作業をおこなっている。
協働のきっかけ・経緯	平成19年度よりスタートした「協働のまちづくり支援制度」への応募をきっかけに町との協働による取組みがスタートした。
取組みの具体的な内容	町の支援制度を受け、平成19年度は巨岩・巨石の景観美をなす通称「デロ杉流域」の環境保全整備事業に取組み、平成20年度は新たに「杉沢の山菜『清流の薫』」パックを首都圏に向け試験販売を開始。 また、県が公募した「秋田県農山村活力向上モデル実践事業」の採択を受け、『豊かな地域資源を最大限活用した賑わい溢れる山村集落の空間再生』を目指し、取組みを実践中。 さらに、杉沢地区活力再生地域協議会を設立し「農山漁村地域力発掘支援モデル事業」の採択も受け、現在、計画の策定中。
農村地域への効果	昨年より整備を開始した「デロ杉流域」が新聞や雑誌に紹介され、多くの来訪者が訪れるようになると同時に来春公開予定の実写版映画「釣りキチ三平」のロケ地になるなど、新たな町の観光拠点になりつつある。 また、「秋田県農山村活力向上モデル実践事業」を通じて高齢者が主役となれる地域づくり、新たな農業の方向性が少しずつ見え始め、町が管理する農園を借用した試験栽培への取組みも順調に推移している。 さらに、国際教養大学との特産品開発に向けた取組みを進めている。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	
仲介者等の役割	国際教養大学熊谷教授がコーディネーター的役割を成しながら、清流の会と「秋田県農山村活力向上モデル実践事業」を通じて主に特産品開発に取組んでいる。

今後の課題	将来的には地域全体で活動を展開することが必須条件と考えるが、そのための意識改革をどう嵩じていくべきかが課題となっている。
関連事業（国・都道府県等）	農山漁村地域力発掘支援モデル事業（農林水産省） 農山村活力向上モデル事業（秋田県）